



平成 20 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 協和医科器械株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池 谷 保 彦
 (J A S D A Q コード番号 : 3 0 5 2)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 柴 田 英 治
 (T E L : 0 5 4 - 3 4 5 - 8 1 4 4)

平成 20 年 6 月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 6 月期(平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)の業績予想について、平成 19 年 8 月 15 日付当社「平成 19 年 6 月期 決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 6 月期 連結業績予想の修正(平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	52,565	245	364	179
今回修正予想 (B)	53,989	377	514	273
増減額 (B - A)	1,423	132	149	94
増減率	2.7%	54.0%	41.0%	52.9%
(ご参考)				
前期実績(平成 19 年 6 月期)	49,511	327	436	243

2. 平成 20 年 6 月期 個別業績予想の修正(平成 19 年 7 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	48,717	77	237	103
今回修正予想 (B)	49,044	26	204	93
増減額 (B - A)	327	△50	△33	△10
増減率	0.7%	△65.3%	△14.1%	△10.4%
(ご参考)				
前期実績(平成 19 年 6 月期)	45,183	81	227	119

3. 業績予想修正の理由

(連結)

連結の業績につきましては、循環器関連の医療機器を販売する連結子会社である㈱オズが年間を通して非常に好調に推移したため営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも当初予想を大幅に上回る見込みとなりました。同社の好業績の主な要因は、循環器内科の症例増加により主力商品であるバルーンカテーテルや冠動脈ステント等の高額消耗品の販売が著しく伸びたこと、営業努力により大型の医療機器(心臓内超音波診断装置等)や電気生理製品(ペースメーカー等)の拡販によるシェア拡大が進んだこと等であります。なお、同社の取扱商品のうち7割以上が償還価格(注1.)の対象商品であり、本年4月の改定が業績に及ぼす影響を算定する必要があったため、開示が本日となりました。

(個別)

当社単体の業績につきましては、大型の病院移転新築案件に係る売上が予定どおり計上できたため、売上高は当初予想の水準を確保しましたが、医療機関からの商品価格の値下げ要求や販売競争の激化により売上総利益率が低下し、人件費、減価償却費等の販売費及び一般管理費の増加を吸収することができなかったため、営業利益は当初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

(注 1.) 償還価格とは、公的医療保険制度において医療機関が診療報酬として保険機関(一部は患者の負担)に請求できる代金のうち、医療材料として請求できる材料(特定保険医療材料)の請求価格であります。原則2年に1回行われる診療報酬の改定に伴い償還価格も改定されますが、改定価格は各々の医療材料によりすべて異なります。また、医療機関への販売価格及び仕入先からの仕入価格は、償還価格を基準にするものの、一定ではありません。

(注 2.) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上